



新年明けましておめでとうございます。
旧年中は新型コロナウイルスの影響の中、皆様より沢山
のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
今年もどうぞ宜しくお願い致します。



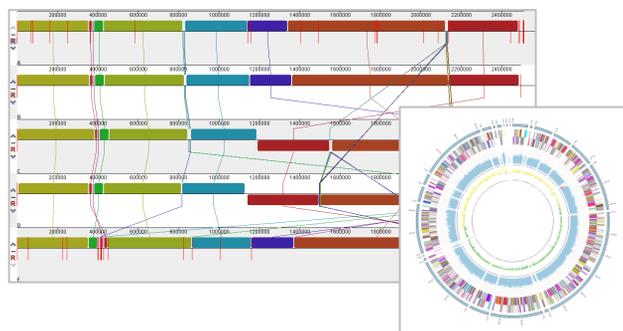
新解析サービス

微生物の全ゲノムシーケンス解析

サンプル調製からデータ解析まで全ての行程を一貫してお受けします

この解析サービスは、微生物の全ゲノムを対象に塩基配列の解読を行います。
同定される細菌の種名だけでなく、ゲノム塩基配列情報や保有している遺伝子の
情報、遺伝子変異に関するプロファイルなど多くの情報を得ることが可能です。
**細菌のスクリーニング後の遺伝子解析や比較ゲノム解析、パンゲノム解析をはじめ
とした研究にご興味のある方にオススメです。**

ただいま特別価格キャンペーン実施中！！



解析の一例

納期1.5ヶ月

DNA抽出
(ご希望の方)

ライブラリー
調製

シーケンス

データ解析

結果の納品・
ご報告

第一三共ヘルスケア株式会社が弊社との共同研究成果を発表

第31回国際化粧品技術者会連盟横浜大会（2020年10月21～30日）で第一三共ヘルスケア株式会社が「肌の老化サインと皮膚細菌叢（さいきんそう）の関係性」について発表しました。

また、**化学工業日報（2020年12月15日）**に、研究成果に関する記事が掲載されました。

[リンク先：https://tak-circ.com/news.html](https://tak-circ.com/news.html)

お知らせ

「細菌叢ブログ」の開設

細菌叢に関わる基礎知識をお届けするブログを開設しました。知っているようで知らなかった話などを掲載しています。お時間のある時にぜひ一度ご覧ください。

[リンク先：https://tak-circ.com/blog.html](https://tak-circ.com/blog.html)

コラム

ゲノム解析技術の進歩

生物の持つ遺伝情報（ゲノム）の解析技術の進歩には目を見張るものがあります。

現在の生命科学の隆盛は1953年のDNA構造の解明に端を発すると考えられています。それから50年後の2003年に、人類はヒトゲノム、すなわちヒトが持つDNA（約30億塩基対）のすべての配列情報を解読することに成功しました。

1980年代半ばの技術では、1000塩基の配列を一人で解読するのに3日必要であり、DNA配列の解読には多大な労力と時間、そして費用が必要でした。国際的プロジェクト「ヒトゲノム計画」は、15年の歳月と3000億円を要したといわれています。

しかし、現在では状況は一変しました。ヒトゲノムを解読するのに、今では約一週間、10万円程度の費用しかかかりません。そして、この数字はさらに小さくなっています。

このような“大変革”を引き起こしたのは、「次世代シーケンサー」と呼ばれる解析装置の開発です。一度に10億本以上のDNA断片を同時に解析することのできるこの解析装置の登場によって、ゲノム解読は研究室でルーチンに行われる実験へと変わりました。

人体に共生する細菌の集落“細菌叢”の解析も、次世代シーケンサーの登場によって初めて可能となった研究です。

ゲノム解析技術はさらに進展しています。最近では、第3世代シーケンサーとよばれる装置が開発されてきています。手のひらサイズで、パソコンがあればどこでもDNA解読ができる装置も登場しました。これからのさらなる進歩が楽しみになりますね。